



フェアトレードコーヒー ルワンダ・コアカカ



<コーヒー基本情報>

産地 : ルワンダ・南部州フイエ郡、ニヤマガベ郡

品種 : アラビカ種 (ブルボン)

標高 : 約 1400m~2000m

生産者: カラバ・コーヒー生産者協同組合
(KOAKAKA)

組合員数: 約 1,300 名 (うち女性約 300 名)

加工方式: 水洗加工方式

収穫時期: 3月~6月

形態 : 60kg 麻袋 / 10kg クラフト袋
(スクリーン 15up)

認証 : フェアトレード (FLO) 認証、
レインフォレストアライアンス、UTZ



ルワンダは中央-東アフリカに位置し、『千の丘の国』として知られる美しい内陸国です。5つの火山に囲まれ水の恵みも豊かなため、多様性に富んだ風景が広がります。産地の標高が高く昼夜の寒暖差が大きいいため、コーヒーの実が養分を蓄えようとして固くしまり良質のコーヒー豆となります。コーヒー栽培に適した環境と人々の努力で、近年は高品質のスペシャルティコーヒーの産地として注目を浴びています。20世紀におきた植民地政策による他民族共生の破壊と虐殺の悲劇を自らの力でのりこえ力強く前進するルワンダは『アフリカの奇跡』とも呼ばれました。ルワンダには女性が積極的に参画しているコーヒー生産者協同組合もあり、組合の活動は紛争で分断された地域の再建にも役立ってきました。



KOAKAKA は、ルワンダのフイエ郡キゴマセクターに本部を置き、ニヤマガベ郡でも水洗加工所を運営しています。1999年に875人のコーヒー農家で設立された同組合は、現在、女性約300人、男性約1,000人、計約1,300人の組合員を擁するまでに成長しました。KOAKAKAは、20年の経験を活かして高品質のコーヒーを生産しており、国際市場で高い評価を得ています。また、地域の環境を守りながら、組合員の生活を向上させることにも努めています。2016年からアフリカ・ファインコーヒー協会 (AFCA) と国際女性コーヒー同盟 (IWCA) 加盟。

